

香南市・八重瀬町

姉妹都市提携盟約調印式

新たな交流のブローグ



高知県、香南市と八重瀬町の姉妹都市提携盟約調印式が11月6日、具志頭改善センターで行われ、香南市からは、仙頭義寛市長をはじめ市議会議員26名を含め34名が来町し、調印式に出席しました。一方、八重瀬長からは町長含め4役、町議会議員、農業委員や区長さん、名誉町民、役場関係者などが出席しました。

調印式で中村町長は「行政や教育、文化など多分野での交流を深め、対等のパートナーシップを保って人と人、心と心のつながりを強めていきたい」とあいさつ。

仙頭市長は、「両市町が理解と信頼、有効を深めることは不可欠。相互の地域社会の限らない発展を記念する」とあいさつしました。



調印式後は祝賀会が開かれ、志多伯獅子舞棒術保存会と宮城流美能留会から沖繩の伝統芸能が披露されました。またテーブルには、町特産の食材を生かした料理が並べられ関係者は賑やかな雰囲気の中、親睦を深めました。



香南市って？

香南市は、平成18年3月1日に、高知県の香南5町村（赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村）が合併して誕生した新しい町です。人口約3万4千人で、四国山地を源流にする河川など豊かな水と緑に包まれた地域です。



交流の歴史

「土佐之塔」が昭和41年11月22日、具志頭城址に建立される。高知県遺族会が毎年の慰霊訪問を機に交流が始まり、高知県・具志頭村児童交歓会や各種視察団の派遣交流を通し親善を深め、平成5年5月18日に具志頭村と野市町間で姉妹都市提携盟約調印式が挙行される。それ以後教育、文化、産業、経済等、多様な分野での幅広い交流が行われる。



平成18年度地域間交流事業

なんぶ再発見！地域づくり研修交流会

「地域資源を活かした持続可能な地域づくりの方策を探る」をテーマにした平成18年度地域間交流事業 なんぶ再発見地域づくり研修交流会が11月11日、12日に南城市にあるホテルサンライズ知念を主会場に開催されました。第3分科会の八重瀬町には25名の方が参加しました。



ぐしちゃんいも生産組合の安里美津夫さんと喜美子さんに紅イモ掘り体験事業について説明してもらいました。



ヘリオスブルワリー&レストランで地ビールの生産工程を見学



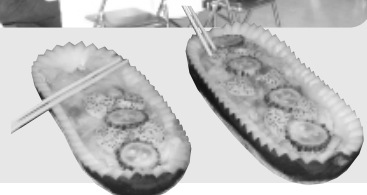
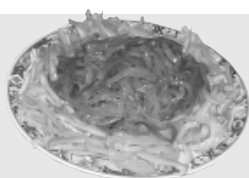
Kファクトリーで木工と陶芸作品を見学



神谷酒造で泡盛の生産工程を見学

午前中は、町内をバスで観光し、昼からは農場や各工場等をまわり、紅イモ掘り体験事業について話しをきいたり、地ビールを味わったり、木工・陶芸作品や泡盛の生産工程を見学したり体験型の観光をしました。

体験、見学の後は、具志頭農村環境改善センターで、天願さんの指導のもとツアー参加者が集まって、八重瀬町の将来像について話し合いました。時間の都合上、深く意見をいいうことができませんでしたが、交流会には、地元の食材を生かした料理やお酒を飲食したり、大城友弥君のミニライブを聞いたりして参加者たちは親睦を深めました。



12日には、南城市にあるホテルサンライズ知念で各分科会の参加者で「わったーまちの自慢大会」と題したワークショップを幸喜穂乃さんをファシリテーターとして行いました。参加者たちは、各グループごとにそれぞれ体験や交流をしたことについて意見を言い合い、それをまとめ発表をします。3グループは、「八重瀬の商品づくり、地域づくり」と題して8つの観点から八重瀬町を紹介することでうまくまとめていました。



南部工業高校ソーラーカーが4時間耐久試験をクリア

県立南部工業高校において、県教育庁指定エネルギー教育推進事業研究指定校を受けて政策を進めていたソーラーカーが1年かけて完成した。今回制作したソーラーカーは、2人乗りのファミリータイプ。同校のイベント用に研究開発したもので、近隣の小学生や中学生に乗って楽しんでもらいたいという学校の思いがある。

10月26日には、ソーラーカーの完成を祝い4時間の耐久試験を実施した。その日はあいにくの曇り空。しかし、蓄電機能を備えたソーラーカーには関係ありません。太陽電池発電出力480W、鉛蓄電池搭載した4輪のソーラーカーは、平均時速20～25Kmで滑走とした走りを見せ、4時間の耐久試験にも見事合格した。制作には機械技術部顧問の真境名勝先生の指導のもと同部員4名とコンピュータデザイン科7名が取り組んだ。ソーラーカー制作は簡単ではなかったと振り返る部長の長田博仁君は「溶接作業が特に難しかったが、信頼できる仲間の協力があってこそ完成させることができた。これからもいろいろな制作に挑戦したい」と話した。



第1回八重瀬町美術・工芸展が11月1日から5日間、具志頭改善センターで開催され、ちぎり絵、絵画、墨絵、書道、写真、織物、染色、陶芸と8部門から約100作品が展示されました。作品は、八重瀬町文化協会の会員から展示されたもので各教室やクラブ活動で仕上げた作品も多くあります。

ちぎり絵サークルで、絵の指導をしている平良節子先生は「ちぎり絵は絵画と比べ簡単に小さい子どもからお年寄りまで幅広く体験できる美術。この展示会を機会に多くの人にちぎり絵の魅力を感じてほしい」と話しました。



第1回

八重瀬町

美術・工芸展が開催



「音訳ボランティア」を養成することを目的として八重瀬町社会福祉協議会が主催する音訳養成講座が9月25日から10月18日までの間、八重瀬町社会福祉会館で7回開催されました。講師に棚原治江先生を迎えた講座には、26名の応募がありそのうち10の方が修



了証を授与することができました。また、講座では、リスナーさんや音訳サークル「やえせ」の方々も参加して交流会をしたり、棚原さんの指導のもとウチナー口での芝居をしたりと内容的に充実した講座になりました。

音訳養成講座 10の方が修了証を授与しました

沖縄県生徒商業研究発表大会最優秀賞、九州生徒商業研究発表大会優秀賞を受賞した県立南部商業高校マーケティング部が11月9日、八重瀬町役場を表彰訪問し、大会の報告に加えて研究発表会を開きました。高校生8人が在籍しているマーケティング部は、県外から修学旅行で訪れる高校生が自由時間を有効に使ってほしいという理由から沖縄の国際通り周辺の観光パンフレットを作成しました。生徒たちは、企画書の作成やアンケート調査、旅行代理店への営業などの取り組みをプロジェクトを使って紹介。音楽を使いながらリズムカルに発表するなど高校生らしいユニークな発想が見られました。生徒たちは、これまでの取り組みについて「はじめは自分たちの企画が受け入れてもらえず挫折することもあったが、



失敗をおそれず続けることでやりとげることができました」と話しました。これから開催される全国生徒商業研究発表大会でもがんばってください。

南部商業高校マーケティング部 沖縄県生徒商業研究発表大会最優秀賞 九州生徒商業研究発表大会優秀賞